



旧広島陸軍被服支廠倉庫

見、知り、訪れ、想い、語る。

公開シンポジウム

広島に残る最大級の被爆建物「旧広島陸軍被服支廠倉庫」について、広島県が2棟解体方針を出して以来、各方面から様々な声が上がっています。県は決定を当面先送りする見通しとなっていますが、解体方針の撤回には至っていません。アーキウォーク広島ではこの建物について過去にも調査・見学会・シンポジウムを開催しており、今年1月には建物見学会を急ぎよ開催したほか、議論のたたき台として独自に活用案を作成・公表しました。いま改めて、問題点を整理してこの倉庫群を残す意義を問い直すとともに、あの場所の望ましい将来像を「想い・語る」場として、シンポジウムを開催いたします。

2020年2月8日(土)
13:30～15:30 (開場 13:00)

参加無料 | 定員 200名 | 事前申込不要

会場：広島県立美術館 地下1階講堂 広島市中区上鞆町 2-22

登壇：戸田 常一 安田女子大学教授
平尾 順平 NPO 法人ひろしまジン大学代表理事
高田 真 アーキウォーク広島代表
ほか、調整中
(パネルディスカッション司会：山下 和也)



主催：アーキウォーク広島
<http://www.oa-hiroshima.org>

独自に作成した倉庫群の活用案

議論のたたき台として作成した、ホテル等の収益施設を導入して県と国の負担を軽減(税金をできるだけ使わない)しつつ、これからの広島に必要な役割を与えていくプラン。シンポジウムではこの案の作成意図説明も行う予定。



ピース&アートサイト



ライフスタイルホテル

ものづくり拠点

